

☆☆

「翻訳ひとくちメモ」-Vol.17- 「減価償却に関する英語表現」

☆☆

前号で触れた今年の漢字は「北」、また今年の英単語は“fact”（事実）と発表されました。「北」は北朝鮮のミサイル発射や核実験などを反映したもの、また“fact”は「オルタネイティブファクト」(alternative fact)や「ファクトチェック」(fact check)などの語に対する検索数が増加したことによるものようです。

今年も残すところ後僅かとなりました。陰暦 12 月を「臘月」と呼びますが、「臘」とは冬至後の第三の戌の日の中国の祭を指し、獵の獲物を先祖百神に供える行事を意味します。以下は天神、菅原道真(845-903)が十四歳の時に作った漢詩とされています。

「臘月獨興」(臘月に独り興ず) 菅原道真

玄冬律迫正堪嗟	げんとうりつせま なげ 玄冬律迫り正に嗟くに堪えたり
還喜向春不敢除	はる 還りて喜ぶ春に向かはんとて敢えて除かならざるを
欲盡寒光休幾處	いこ 尽きなむとする寒光幾ばくの処にか休はむ
將來暖氣宿誰家	ぼう 將に來たりなむとする暖氣誰が家にか宿らむ
氷封水面聞無浪	ぼう 氷は水面を封じて聞くに浪無し
雪點林頭見有花	りんとう 雪は林頭に点じて見るに花有り
可恨未知勤學業	恨むべし未だ學業に勤むることを知らずして
書齋窓下過年華	ねんか 書齋の窓の下に年華を過ぐさむことを

(拙現代語訳)

冬の寒さが極まり今年も残り少なくなったが、それを嘆いたところで仕方がない。その一方で季節は確実に春に向かっており、その訪れは決して遙か先のことではないのだ。いずれ尽きるであろう寒さが終わるのはどれくらい先のことなのか。また、いずれ訪れるであろう春の暖気は、今どの辺りに留まっているのか。しかし外を見れば、氷は水面を閉ざし波の音すら聞こえず、林の梢は雪に覆われまるで花が咲いたように見える……(\*\_ \_)。

あっ、しまった！また勉学に励むことを忘れて、書齋の窓から景色を眺めて詩歌など詠んで黄昏れてしまった。そんなことじゃ駄目なのわかっているのに……。

♪♪♪

日本の会社では、会計年度が4月-3月(3月決算)のところが多いですが、外資系の会社は、1月-12月(12月決算)のところが多いようです。本号では会計分野から「償却(減価償却)」に関する英語表現について取りあげます。

ビジネス文書で「償却」といえば、通常は会計学の「減価償却」を意味します。「減価償却」とは、企業会計に関する購入費用の認識と計算の方法の一つで、長期間にわたって使用される固定資産の取得（設備投資）に要した支出を、その資産が使用できる期間にわたって費用配分する手続きをいいます。

減価償却の方法には、定額法、定率法などがありますが、まずその前に「償却する」を表わす動詞に amortize と depreciate の 2 種類があります。これら使い分けは、有形固定資産 (Tangible fixed asset) に関しては depreciate (depreciation) を使用し、無形固定資産 (Intangible fixed asset) に関しては amortize (amortization) を使用します。

有形固定資産は目に見えるものが殆どですが、無形固定資産は、目には見えないが「価値ある権利など」を意味し、知的財産権 (Intellectual property right) などが含まれます。

有形固定資産 (Tangible fixed asset)	無形固定資産 (Intangible fixed asset)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地 (Land)</li> <li>・建物 (Buildings)</li> <li>・建物附属設備 (Buildings and accessories)</li> <li>・構築物 (Structures)</li> <li>・機械及び装置 (Machinery &amp; equipment)</li> <li>・車輛運搬具 (Vehicles &amp; delivery equipment)</li> <li>・工具器具備品 (Tools, furniture &amp; fixtures)</li> <li>・減価償却累計額 (Accumulated depreciation)</li> <li>・建設仮勘定 (Construction in progress)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業権 (Goodwill)</li> <li>・特許権 (Patent right)</li> <li>・実用新案権 (Utility model right)</li> <li>・意匠権 (Design right)</li> <li>・商標権 (Trademark right)</li> <li>・著作権 (Copyright)</li> <li>・営業秘密 (Trade secret)</li> <li>・漁業権 (Fishery right)</li> <li>・借地権 (Leasehold right)</li> <li>・地上権 (Superficies)</li> <li>・鉱業権 (Mining right)</li> <li>・ソフトウェア (Software)</li> </ul>

また、主な原価償却の方法は以下の通りです。

減価償却方法	概要
定額法 (Straight line method)	固定資産の耐用年数の期間中、每期同一額を減価償却する方法。 (取得価格 - 残存価格) × (1 / 耐用年数) で算出。
定率法 (Declining balance method)	未償却残高に対して、每期一定率の償却額を計上する減価償却方法の一つ。(取得価格 - 減価償却費の累計) × 償却率で算出。
級数法 (Sum-of-the-years' digits method)	定率法と同じように時間の経過とともに一定の比率で減価償却する方法。但し一定の公式は無く、算術級数を用いて計算する。
生産高比例法 (Units-of-production method)	総利用時間が物理的に確定できる飛行機や鉱業用機械などに適用され、見積総生産高を基準に計算する方法。減価償却費 = (取得減価 - 残存価額) × 当期の実際生産高 ÷ 見積総生産高で算出。

(英文例)

1) Depreciation led to a drop in the value of tangible fixed assets but accounts receivable increased as a result of higher sales and also inventory increased mainly due to a rise in prices.

減価償却により有形固定資産が減少した一方、売上高の増加に伴い売掛金が増加し、また、販売価格の上昇等によりたな卸資産が増加しました。

2) Internal use software shall be amortized on the straight-line method over the estimated useful life (less than 5 years).

社内で利用するソフトウェアは、利用可能年数(5年未満)の定額法にて減価償却するものとする。

3) The Company calculated the depreciation cost of fixed assets for which the declining balance method is used by dividing the depreciation cost for the fiscal year proportionally.

当社は固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

4) One of two consolidated subsidiaries with mining rights on their books depreciates the assets based on the estimated useful life while the other depreciates based on the units-of-production method.

連結子会社2社が計上している鉱業権は、うち1社が見積り耐用年数、うち1社が生産高比例法にて償却しております。

参考文献:

「英和・和英 金融・証券用語辞典」(The Japan Times)

☆☆

「翻訳ひとくちメモ」第 17 号 2017 年 12 月 25 日発行

発行元:

産機エンジニアリング株式会社 翻訳・通訳グループ 土中 健弘(文責)

〒804-0002 北九州市戸畑区大字中原 46-59

TEL: 093-871-5139/FAX: 093-872-5219

E-mail: [donaka@sankieng.co.jp](mailto:donaka@sankieng.co.jp)

URL: <http://www.sankieng.co.jp/>

☆☆

Copyright © 2017 SANKI ENGINEERING CORPORATION All Rights Reserved.